

令和8年4月30日発行



五小だより

学校だより 5月号
東久留米市立第五小学校
校長 菱田 行記

「全力」で取り組む子供たち

校長 菱田 行記

新緑がまぶしく、吹く風がさわやかに薫る季節となりました。門を入ったところのけやきの葉もやわらかい若葉色となり、毎朝子供たちの登下校をやさしく見守っています。

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。4月は、保護者会、引き取り訓練、学校公開等に多数のご出席をいただき、感謝申し上げます。

4月6日（月）の始業式と入学式から始まった新しい学年・新しい学級での生活がまもなく1か月を経過しようとしています。始めは新しい環境に緊張している様子がうかがえましたが、学年や学級に少しずつ慣れてきたように感じます。

今年度は全学年で学級編成を行いました。学級編成をきっかけに、多くの友達と関わることで違いを知り、その違いを認め合いながら、自分や他人のよさに気づき、思いやりの心と望ましい人間関係作りを学んでほしいと思っています。

始業式と入学式では、児童に向けて、大切にしてほしい三つのことについての話をしました。大切な三つとは、「挨拶」、「思いやり」、「全力」です。

本校は、5月23日（土）に運動会を予定しています。校庭や体育館では、運動会に向けた取組がスタートしています。リレーでは、スピードを落とさずバトンパスできるようにチーム内で話し合ったり、何度もやり直して練習したりしています。また、6年生のある子はバトンパスについて調べたことを自学ノートに書き、自分たちの学びに生かそうとしていました。子供たちの目は真剣そのもので、まさに「全力」で取り組んでいます。5月に入ったら、表現運動が本格的に始まります。練習できる時間は限られています。きっと子供たちはその限られた時間の中で「全力」で頑張ってくれると思います。運動会当日は、これまでの子どもたちの頑張りを認めていただき、保護者・地域の皆様も「全力」で子供たちを応援していただけると幸いです。

5月1日に登校したら、2日から5連休に入ります。子供たちは、緊張しながらの生活、運動会に向けた取組で疲れが出ているところです。体と心の疲れを癒し回復するよい期間にしてください。